

科目名	介護基礎							年度	2025
英語科目名	Fundamentals of nursing care							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	2	種別※	講義
担当教員	武田瑞穂子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		介護福祉士		
【科目の目的】									
・コミュニケーションの重要性を理解し、支援者としての目線を知る事ができる。 ・介護に関する基礎知識を習得する事ができる。 ・実習を通して学ぶことで基本的な介護技術を習得する事ができる。 ・認知症患者への理解を深める。									
【科目の概要】									
・コミュニケーションとは何かを学び、自己理解を深める事で他者に向き合う力を育てる。 ・高齢者・認知症状のある方、体に麻痺のある方に対する理解を深める。対応方法を学び、支援者としてのコミュニケーションの力を育てる。 ・車椅子の使い方、衣服の着脱、ベッド上での寝返り、移乗等の基礎的技術を習得する。									
【到達目標】									
世代の違う他者とのコミュニケーション、高齢者に対するコミュニケーションの技法を学び理解することで実践に活かすことができる。基本的介護技術を学び高齢者の特性を知り理解を深める事で安心感、信頼感のある人材育成を目指す。									
【授業の注意点】									
授業日数の4分の3以上に出席できない人は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標A	人は一人一人違う事を理解し自己を知ること で他者の思いを理解することが できる	人は一人一人違う事を理解し自己を知ることが できる	人は一人一人違う事を理解することが できる	コミュニケーションとは何かを理解して いない	世代のちがう他者への理解はめんどうと考 えている				
到達目標B	支援者としてのコ ミュニケーションを 理解し、活かすこと ができる	信頼、安心を得るコ ミュニケーションを 理解して活かすこと ができる	コミュニケーション の重要性を理解して いる	支援者にはコミュニ ケーションの能力が 大切と理解していな い	コミュニケーション の理解を深める事は めんどうと考えてい る				
到達目標C	介護の基礎知識を習 得し、信頼・安心を 得るコミュニケー ションを取る事が出 来る	介護の基礎知識を理 解、習得することが できる	介護の知識が必要と 理解している	介護の知識が必要と 理解せず習得でき ていない	介護の基本技術を習 得することはめんど うと考えている				
到達目標D	認知症の基礎知識を 習得し対応法を理 解し活かす事ができ る	認知症の基礎知識を 理解することができ る	認知症の基礎知識を 習得する事ができ る	認知症の基礎知識の 習得が曖昧である	認知症の基礎知識の 習得は必要ないと考 えている				
到達目標E	信頼、安心を得る介 護の基本技術を習得 し実践することがで きる	信頼、安心を得る介 護の基本技術を習得 することができ る	介護の基本技術があ る事を理解している	介護の基本技術の理 解が曖昧である	介護の基本技術を習 得することはめんど うと考えている				
【教科書】									
いちばんわかりやすい介護術/永岡書店									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
学期末に行う定期試験									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		介護基礎			年度	2025
英語表記		Fundamentals of nursing care			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	授業の流れを伝える	個人の介護は生活作りの助けと理解する	1 介護とは何か	一人一人の生活にあわせるとはどういうことかを知る		
			2 他者を理解する	コミュニケーションの重要性と大切さを理解する		
			3 介護技術	習得することでよりよい信頼関係に繋がることを理解する		
2	コミュニケーション①	他者との関りを理解する	1 コミュニケーションとは？	人は一人一人違う事を理解する		
			2 自分とのコミュニケーション	自分の内面と対話する		
			3 他人とのコミュニケーション	違いを理解し対話する		
3	実習 コミュニケーション②	実習を通して相手の気持ちを理解する	1 観察する	実習を通して体感し、日常会話と意図を持って行うコミュニケーションの違いを理解する	2	
			2 聴く			
			3 伝える			
4	高齢者とは	心の動き体の動きを理解する	1 フレイルと心の関係	心と身体をつなぐりを理解する		
			2 生活習慣病	高齢者と病気の特性を理解する		
			3 脱水・脳卒中	身体への影響と介護との関係を理解する		
5	介護とは	介護をとりまく現状を理解する	1 高齢者福祉の歴史	介護の背景を理解する		
			2 ICFとは			
6	介護保険制度とは	基本的内容を理解する	1 介護度とは	内容を理解する		
			2 お金の流れ	保険制度のなりたちを理解する		
			3 サービスについて	サービス内容を知る		
7	実習 立ち座り	人の体の動きを理解し動作を安全にサポートする	1 重心の理解	どうしたら立ち座りしやすいか体感することで介助の方法を理解する	2	
			2 触れ方			
			3 言葉かけ			
8	実習 車椅子	扱いを習得する	1 安全な移動	スピード、ブレーキ、悪路走行を習得する	2	
			2 段差の超え方	体重のかけ方、車椅子の扱い方を習得する		
			3 言葉かけ・触れ方	言葉かけのタイミング、安心して頂くには		
9	実習 寝がえりと移乗	要介護者、介護者どちらも安全な方法を習得する	1 ボディメカニクスとは	自分の体の使い方を知る	2	
			2 重心の理解	重心を理解し、お互いに楽な状態を知る		
			3 触れ方	触れ方を学ぶ(言葉かけも)		
10	実習 更衣	麻痺のある人の着脱を習得する	1 麻痺のある人	脱健着患のルールを理解する	2	
			2 全身に力の入りにくい人	注意点を把握する		
			3 ブライバシーの守り方	タオルを使う、見守りとのバランスのとり方、誘導性を持つこと		
11	高齢者との関わり方まとめ	実習をふり返りポイントを理解する	1 言葉かけ	言葉かけの大切さを理解する		
			2 触れ方	触れ方の大切さを理解する		
			3 ボディメカニクス	自分の体の使い方の大切さを理解する		
12	認知症について	病気を知る	1 認知症の種類	発症率や男女差の理解をする		
			2 症状を知る	それぞれの特徴を知る		
13	認知症について	対応を知る	1 アルツハイマー型への対応	忘れる相手との関わり方		
			2 注意点	心の動きを知る		
			3 心がまえ	よりそう気持ちを理解する		
14	まとめ	授業をふり返り全体を把握する	1 授業の復習	多岐に渡る内容を整理する		
			2 質疑応答			
15	振り返り	振り返り	1 テスト解説	復習、整理する		
			2 ホスピタリティとは	プラスアルファの心を持つ		
			3 授業の感想	講師へのフィードバック		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						